



本資料は、米国アッヴィ社が2019年11月1日(米国時間)に発表したプレスリリースを一部、日本語に翻訳し、2019年11月8日(日本時間)、皆さまのご参考として供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語が優先します。本資料(英文)については、www.abbvie.comをご覧ください。なお本文中には日本未承認薬、未承認適応症に関する情報が含まれています。

PRESS RELEASE

2019年11月8日

アッヴィ、2019年第3四半期の業績を発表

- 2019年第3四半期の希薄化EPSはGAAPベースで1.26ドルでした。調整後希薄化EPSは2.33ドルでした。
- 2019年第3四半期の売上高は、GAAPベースで3.0%増、営業ベースで3.5%増の84億7,900万ドルでした。
- 2019年第3四半期のヒュミラ®の米国での売上高は、9.6%増の38億8,700万ドルで、米国外ではバイオシミラーの影響により、報告ベースで33.5%減、営業ベースで31.8%減の10億4,900万ドルでした。
- 2019年第3四半期の血液腫瘍領域の売上高は、報告ベースで38.3%増、営業ベースで38.5%増の14億7,800万ドルでした。第3四半期のイムブルピカ®(日本ではヤンセンファーマ株式会社が承認、発売)の全世界での売上高は29.3%増の12億5,700万ドルで、その内訳は、米国内が10億4,200万ドル、米国外が2億1,500万ドルでした。ベネトクラクス(日本では承認済、未発売)の全世界の売上高は、2億2,100万ドルでした。
- パイプラインの進捗については、ウパダシチニブ(日本では未承認、未発売)が中等度から重度の関節リウマチの治療薬として承認され、Elagolix(日本では未開発、未承認、未発売)は子宮筋腫に伴う過多月経の管理を適応として承認申請を行いました。
- アッヴィによるアラガン社の買収提案について、政府からの承認を得る作業を進めつつ、アラガン社の株主の承認は得ており、2020年初旬に買収手続きを完了するものと見込んでいます。
- 2019年のGAPPベースの希薄化EPSの見通しを、第2四半期に承認を取得したスキリージ®の条件付対価の非現金費用および2016年のStemcentrx社の買収の一部として取得した無形資産の第3四半期における減損処理も含め、中間値における39.1%の上昇を反映し5.69~5.79ドルから5.08~5.10ドルへと修正しました。2019



年の調整後希薄化 EPS の見通しを、中間値における 12.6%の上昇を反映し、8.82～8.92ドルから 8.90～8.92ドルへ上方修正しました。

- 2020 年 2 月の配当より 10.3%の増配を発表しました。

米国イリノイ州ノースシカゴ、2019 年 11 月 1 日—アッヴィ(NYSE: ABBV)は、2019 年第 3 四半期(2019 年 9 月 30 日終了)の業績を発表しました。

アッヴィの会長兼 CEO のリチャード・A・ゴンザレスは、次のように述べています。「免疫と血液腫瘍領域が第 3 四半期の業績を押し上げました。また、戦略上の優先事項の進捗は順調で、免疫領域における 2 製品、すなわちウパダシチニブ(日本では未承認、未発売)やスキリージ®が、発売後、好調な滑り出しを見せ、また、アラガン社の買収手続きも完了に向けて進んでいます。好調が続いているポートフォリオを基に、2019 年通年の EPS ガイダンスのレンジと配当金を再び引き上げてまいります」

第 3 四半期の業績

- 全世界の売上高は、報告ベースで 3.0%増、営業ベースで 3.5%増の 84 億 7,900 万ドルでした。
- ヒュミラ®の全世界での売上高は、報告ベースで 3.7%減、営業ベースで 3.2%減の、49 億 3,600 万ドルでした。米国での売上高は、9.6%増の 38 億 8,700 万ドルで、米国外ではバイオシミラーの影響により、報告ベースで 33.5%減、営業ベースで 31.8%減の 10 億 4,900 万ドルでした。
- 血液腫瘍領域の全世界での売上高は、報告ベースで 38.3%増、営業ベースで 38.5%増の 14 億 7,800 万ドルでした。イムブルビカ®の全世界での売上高は 29.3%増の 12 億 5,700 万ドルで、その内訳は、米国内が 10 億 4,200 万ドル、米国外が 2 億 1,500 万ドルでした。ベネトクラクス(日本では未発売)の全世界の売上高は、2 億 2,100 万ドルでした。
- HCV の全世界での売上高は、報告ベースで 19.0%減、営業ベースで 18.6%減の 6 億 9,800 万ドルでした。米国では、17.0%減の 3 億 6,800 万ドルで、米国外では、報告ベースで 21.2%減、営業ベースで 20.4%減の 3 億 3,000 万ドルでした。
- GAAP ベースで、売上総利益率は 77.4%でした。調整後売上総利益率は 82.0%でした。
- GAAP ベースで、売上高に占める販売費および一般管理費の割合は、19.5%でした。調整後の売上高に占める販売費および一般管理費の割合は 19.1%でした。
- GAAP ベースで、売上高に占める研究開発費の割合は、26.9%でした。調整後の研究開発費の売上高に占める割合は、パイプラインへの投資を反映し、14.5%でした。
- GAAP ベースで、営業利益率は 30.9%でした。調整後営業利益率は 48.4%でした。
- GAAP ベースで、純支払利息は 4 億 2,000 万ドルでした。調整後の純支払利息は 2 億 8,800 万ドルでした。GAAP ベースの税率は、5.9%でした。調整後の税率は、8.8%でした。



- 希薄化 1 株当たり利益は、2016 年の Stemcentrx 社の買収の一部として取得した無形資産の減損処理を含め、GAAP ベースで 1.26ドルでした。特定項目を除く調整後希薄化 EPS は、2.33ドルでした。

注意：「営業ベース(Operational)の対比は恒常為替レートで提示し、前年の為替レートにより現地通貨売上高の比較を実施しています。

詳細な情報はこちらをご覧ください(英文オリジナル)

<https://news.abbvie.com/news/press-releases/abbvie-reports-third-quarter-2019-financial-results.htm>

アッヴィについて

アッヴィは、グローバルな研究開発型のバイオ医薬品企業です。世界で最も複雑かつ深刻な疾患に対する、革新的な先進治療薬の開発を行っています。その専門知識、献身的な社員、イノベーション実現に向けた独自の手法を通じて、自己免疫疾患、がん、C 型慢性肝炎などのウイルス感染症およびニューロサイエンスの 4 つの主要治療領域での治療を大きく向上させることをミッションに掲げています。世界中の人々が持つ健康上の課題への解決策を進歩させるため、75 カ国以上の国でアッヴィ社員が日々取り組んでいます。アッヴィの詳細については、www.abbvie.com をご覧ください。Twitter アカウント [@abbvie](https://twitter.com/abbvie)、[Facebook](https://www.facebook.com/abbvie)、[LinkedIn](https://www.linkedin.com/company/abbvie) や [Instagram](https://www.instagram.com/abbvie) でも情報を公開しています。

アッヴィ 今後の見通しに関する記述

本リリースにおける記載には、1995 年米国私募証券訴訟改革法に示される「今後の見通しに関する記述」が含まれています。「確信」「期待」「予測」「計画」という言葉およびそれに類する表現は、一般に将来予想に関する記述となります。当社からの注意喚起として、このような将来予想に関する記述はリスクおよび不確実性による影響を受け、実際の結果と将来予想に関する記述での予測との間に大幅な相違が生じる可能性があります。このようなリスクおよび不確実性には、知的財産に対する脅威、他社製品との競合、研究および開発プロセスに特有の困難、敵対的訴訟または政府による介入、業界に関連する法律および規制の変更などがあります。

アッヴィの経営に影響を及ぼす可能性のある経済、競合状況、政府、科学技術およびその他の要因については、Securities and Exchange Commission (米国証券取引委員会) に提出済みのアッヴィの 2018 年度アニュアルレポート(10-K 書式)の 1A 項「リスク要因」に記載しています。アッヴィは、法律で要求される場合を除き、本リリースの発表後に発生した出来事または変化によって、今後の見通しに関する記述を更新する義務を負わないものとします。